

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成30年4月19日(2018.4.19)

【公開番号】特開2017-169582(P2017-169582A)

【公開日】平成29年9月28日(2017.9.28)

【年通号数】公開・登録公報2017-037

【出願番号】特願2017-103668(P2017-103668)

【国際特許分類】

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 P 21/02 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 1/21 Z N A

C 1 2 P 21/02 C

C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月9日(2018.3.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

大腸菌 K - 1 2 株 M G 1 6 5 5 の少なくとも以下の遺伝子：b 0 2 4 5 - b 0 3 0 1、  
b 0 3 0 3 - b 0 3 1 0、b 1 3 3 6 - b 1 4 1 1、b 4 4 2 6 - b 4 4 2 7、b 2 4 4  
1 - b 2 4 5 0、b 2 6 2 2 - b 2 6 5 4、b 2 6 5 7 - b 2 6 6 0、b 4 4 6 2、b 1  
9 9 4 - b 2 0 0 8、b 4 4 3 5、b 3 3 2 2 - b 3 3 3 8、b 2 3 4 9 - b 2 3 6 3、  
b 1 5 3 9 - b 1 5 7 9、b 4 2 6 9 - b 4 3 2 0、b 2 9 6 8 - b 2 9 7 2、b 2 9 7  
5 - b 2 9 7 7、b 2 9 7 9 - b 2 9 8 7、b 4 4 6 6 - b 4 4 6 8、b 1 1 3 7 - b 1 1  
7 2、b 0 5 3 7 - b 0 5 6 5、b 0 0 1 6 - b 0 0 2 2、b 4 4 1 2 - b 4 4 1 3、b  
0 5 7 7 - b 0 5 8 2、b 4 4 1 5、b 2 3 8 9 - b 2 3 9 0、b 2 3 9 2 - b 2 3 9 5  
、b 0 3 5 8 - b 0 3 6 8、b 0 3 7 0 - b 0 3 8 0、b 2 8 5 6 - b 2 8 6 3、b 3 0  
4 2 - b 3 0 4 8、b 0 6 5 6、b 1 3 2 5 - b 1 3 3 3、b 2 0 3 0 - b 2 0 6 2、b  
2 1 9 0 - b 2 1 9 2、b 3 2 1 5 - b 3 2 1 9、b 3 5 0 4 - b 3 5 0 5、b 1 0 7 0  
- b 1 0 8 3、b 1 8 7 8 - b 1 8 9 4、b 1 9 1 7 - b 1 9 5 0、b 4 3 2 4 - b 4 3  
4 2、b 4 3 4 5 - b 4 3 5 8、b 4 4 8 6、b 0 4 9 7 - b 0 5 0 2、b 0 7 0 0 - b  
0 7 0 6、b 1 4 5 6 - b 1 4 6 2、b 3 4 8 1 - b 3 4 8 4、b 3 5 9 2 - b 3 5 9 6  
、b 0 9 8 1 - b 0 9 8 8、b 1 0 2 1 - b 1 0 2 9、b 2 0 8 0 - b 2 0 9 6、b 4 4  
3 8、b 3 4 4 0 - b 3 4 4 5、b 4 4 5 1、b 3 5 5 6 - b 3 5 5 8、b 4 4 5 5、b  
1 7 8 6、b 0 1 5 0 - b 0 1 5 3 および b 2 9 4 5、または他の大腸菌 K 1 2 株もしくは  
B 株の対応する遺伝子が欠失している、ゲノム縮小化大腸菌 K 1 2 または B 株細菌であ  
って、挿入配列を全て欠き、機能する d i n B 遺伝子を欠く、ゲノム縮小化大腸菌 K 1 2  
または B 株細菌。

【請求項 2】

機能する p o l B 遺伝子をさらに欠く、請求項 1 に記載の細菌。

【請求項 3】

機能する u m u D C 遺伝子をさらに欠く、請求項 1 または 2 に記載の細菌。

**【請求項 4】**

前記細菌の天然親株が B 株である、請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載の細菌。

**【請求項 5】**

前記細菌の天然親株が株 B L 2 1 ( D E 3 ) である、請求項 4 に記載の細菌。

**【請求項 6】**

前記細菌の天然親株が K 1 2 株である、請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載の細菌。

**【請求項 7】**

前記細菌の天然親株が K 1 2 株 M G 1 6 5 5 である、請求項 6 に記載の細菌。

**【請求項 8】**

前記細菌が、前記 d i n B 遺伝子を機能しないようにさせることにより、M D S 4 2 から作製される、請求項 7 に記載の細菌。

**【請求項 9】**

機能する u m u D C 遺伝子および / または機能する p o l B 遺伝子を有する、請求項 1 に記載の細菌。

**【請求項 10】**

機能する u m u D C 遺伝子および / または機能する p o l B 遺伝子を欠く、請求項 1 に記載の細菌。

**【請求項 11】**

異種核酸を含む、請求項 1 ～ 10 のいずれか一項に記載の細菌。

**【請求項 12】**

前記異種核酸が、発現制御配列に作動的に連結されたポリペプチドをコードする核酸を含む、請求項 11 に記載の細菌。

**【請求項 13】**

ポリペプチドを製造するための方法であって、前記ポリペプチドの発現に好適な条件下で請求項 12 に記載の細菌をインキュベートすることと、該ポリペプチドを回収することを含む、方法。